【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： BRST-105

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん	EC療法	21日間	【進行/再発】 4～6コース 【術前/術後補助】 4コース	■ 進行/再発 ■ 術後補助化学療法 ■ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	高	J Clin Oncol 19: 3103-, 2001

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート アロキシ 生理食塩液	9.9mg 0.75mg 50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	エピルビシン 生理食塩液	90mg/㎡ 100mL	点滴静注	10分	↓																				
③	エンドキサン 生理食塩液	600mg/㎡ 250mL	点滴静注	30分	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				

＜注意事項/備考＞

- ✓ 催吐リスク：高リスク：NK1受容体拮抗薬、DEX、5HT3拮抗薬併用
- ✓ EPI：全量150mLになるように調製（全量≧150mLになる場合）
- ✓ EPI： 投与後1-2日間尿の着色（赤色）
- ✓ EPI：総投与量900mｇ/㎡以上で心毒性のリスク増大、既往歴を含め総投与量の確認
- ✓ 進行再発症例：EPIを75mg/㎡に減量可
- ✓